

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 1 月 30 日公表

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			国の定めた基準以上の広さを確保し、療育と余暇の部屋を分けています。	今後も児童ごとの状況と、その日の配置に応じて適切な療育スペースを設定していきます。
	2	職員の配置数は適切である			配置数は児発管、保育士、児童指導員等の適切な人員が配置出来るようローテーションを組んでいます。	配置数は十分規定を満たしていますが、児童の増加に伴い、今後必要があれば職員の増加も検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			屋内は段差がないように工夫し、階段の上り下りの際は、複数の職員で対応しています。	屋内は段差が無いように工夫していますが、2 F のため、階段の上り下りがあるので、引き続き複数職員で対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している			毎日引継ぎを行う事で、業務改善を進めています。	今後も引き継ぎを行い、活発な意見交換を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			評価表に書かれているご意見を基に改善するように努めています。また玄関にご意見箱を設置しています。	保護者様からのご意見を参考に業務改善に繋げていきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			COMPASS の公式 Web サイトで公開しています。	今後も評価表による結果を公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			現状では第三者委員会の評価は行えていません。	現在は第三者による外部評価を行っていませんが、今後は業務改善を行っていけるよう第三者の設置を検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			定期的に研修を行ったり、地域の研修にも参加しています。	今後も研修により職員の資質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している			計画の見直しの際には、必ずアセスメントを行い、計画の作成を行っています。	今後もアセスメントを活用し、計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			標準化されたアセスメントツールを使用しており、情報は個人ファイルに保管し、活用を行っています。	今後も適切にアセスメントツールを活用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている			個別支援計画作成時には職員全員で話し合いをしています。	療育の中で生まれた課題やアイデアを話し合い、より良い支援ができるよう今後も務めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			毎日の引継ぎの中で話し合いプログラムの工夫を行い、集団療育等も取り入れています。	今後も同様に、固定化しないように集団療育等も取り入れ、工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			長期休暇や休日には集団での関わりを増やしたり、買い物学習等を取り入れ、支援しています。	個々の児童の状況と、支援計画を考慮して、日頃できない充実したプログラムの計画を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している			利用児童の状況に応じて計画を作成しています。	今後も保護者様や、学校との情報を共有しながら、ひとりひとりに合った計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			毎日引継ぎを行い前日の様子を振り返りその日に合った支援を行っています。	今後もより細かな引継ぎを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			その日のうちに伝えなければいけない事は、職員全員ではありませんが話し合いを持ち、翌日には全員で情報共有をしています。	今後も同様に振り返りと共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			日々療育内容を記録し職員間で見直しを行い改善に取り組んでいます。	今後も毎日記録をとり、その中で検討・改善を行っています。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している			定期的に行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。	今後も同様にモニタリングと計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている			基本活動を組み合わせガイドラインに沿った支援を行っています。	ガイドラインの総則については勉強会を行い、全員が周知できるよう努めていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			児発管が担当者会議に参加しています。	今後も同様に児発管が参加していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている			連携を図り情報共有を行っています。	今後も同様に学校との連携を図っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			現在は該当者はいませんが、今後連絡体制を整えて行けるよう努めていきます。	今後も同様に連絡体制を整えられるよう努めていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			就学前には支援会を行い、情報共有や支援の統一に努めています。	今後もより良い支援ができるように支援会へ参加していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			現在は該当者はいませんが、要請があれば提供していきます。	将来に向けて、情報提供ができるよう準備を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			担当者会議に参加し、相談支援専門員から助言を受けています。	今後も担当者会に参加し、頂いた助言を活用していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			現状では、交流の機会は設けるに至っておりません。	長期休暇等を利用し、受け入れ可能な施設があれば参加を検討しています。
保護者への説明責任等	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			会があれば、主に管理者が参加するようにしています。	今後も同様に積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			毎回送迎時に状況や課題等を報告し、連絡帳にも状況を記入し共通理解を深めています。	今後も情報共有を行い、より良い支援を目指していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			保護者様のお悩みをうかがい、相談にのり、ひとりひとりに寄り添った支援を心掛けています。	ご家庭との連携も含め、今後も同様に行っていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			ご契約時に保護者様に分かりやすい言葉で説明しています。	変更があった場合は、随時お知らせをしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			相談があった場合は、職員全員で話し合い、より良い助言や支援を行えるようにしています。	今後も職員間で話し合い、必要に応じて助言をしたり、療育に反映できるよう配慮していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			参観日を設け保護者様同士の関わる機会を作りました。また保護者様の方から掲示物等の依頼があれば皆の目に留まるところに掲示しています。	今後は交流会等も予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している			ご見箱の設置、苦情受付業務も行い、迅速に対応できるよう配慮しています。	今後も同様に相談や、申し入れの対応を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			ホームページやお便り等で情報を発信しています。	今後も同様に行っていきます。
	35	個人情報に十分注意している			個人情報の流出には十分配慮し、書類は鍵の掛かる書庫で保管しています。	今後も同様に行っていきます。
非常時の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			職員全員で情報の共有をし、情報伝達の配慮をしています。	今後も継続して同様に行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			事業所のイベントに保護者様以外の地域の方々を招待する機会はありませんでした。	今後保護者様のニーズをきちんと確認し、同意を頂いた上で地域住民参加の行事の計画を検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			保護者様の目に見える所にマニュアルを置き訓練を行うなかで定期的に見直しを行っています。	今後も継続して同様に行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			定期的に訓練を行っています。	今後も継続して同様に行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			社内研修を行っています。	今後も継続し、虐待防止に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			児童、保護者様に説明を行い、承諾を得て必要な児童には計画に取り入れています。	今後も同様に保護者様の同意を得た上で、計画にも取り入れていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			アレルギーと思われる児童に関しては、職員間で把握しています。	アレルギーと思われる児童がいるので保護者様に医師の指示書を依頼しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			その都度報告書を書き、職員で周知徹底しています。	今後も同様に行い「事故を起こさない」ことを目指して話し合いを行います。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。